

**「年末年始の買い物・営業に関するアンケート」
結果報告**

平成 30 年 10 月

福井商工会議所 地域振興部

I 概要

1、目的

大型小売店では、正月三が日営業時の販売員確保や業務の効率改善が課題となっている。こうした中、その対策として営業時間短縮や休業が検討されており、それに関連する消費者の意識等を調査して大型店の課題解決の参考とする。

2、期間

平成30年10月1日（月）～10月18日（木）

3、対象

当所会員事業所の従業員等

4、方法

会員事業所に調査票を持参し、対象者への配布、回収を依頼

5、回答者数

500名（調査票555枚配布、回答率90.1%）

性別

男性	229	45.8%
女性	271	54.2%
合計	500	100.0%

年齢

10代	6	1.2%
20代	78	15.6%
30代	107	21.4%
40代	152	30.4%
50代	104	20.8%
60代	47	9.4%
70代	5	1.0%
不明	1	0.2%
合計	500	100.0%

居住地

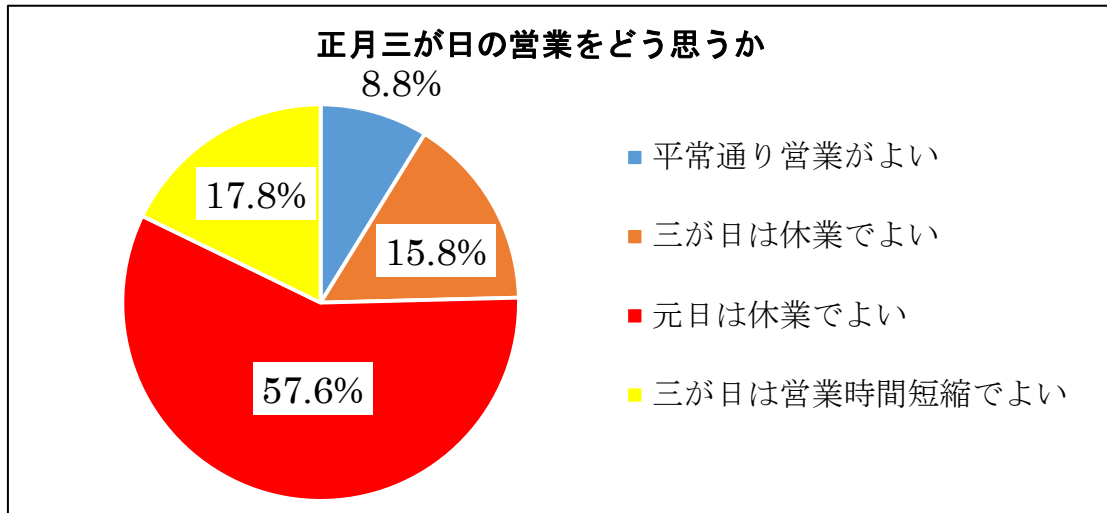
福井市	310	62.0%
あわら市	18	3.6%
坂井市	74	14.8%
永平寺町	15	3.0%
奥越	14	2.8%
丹南	61	12.2%
嶺南	2	0.4%
県外	5	1.0%
不明	1	0.2%
合計	500	100.0%

Ⅱ 結果

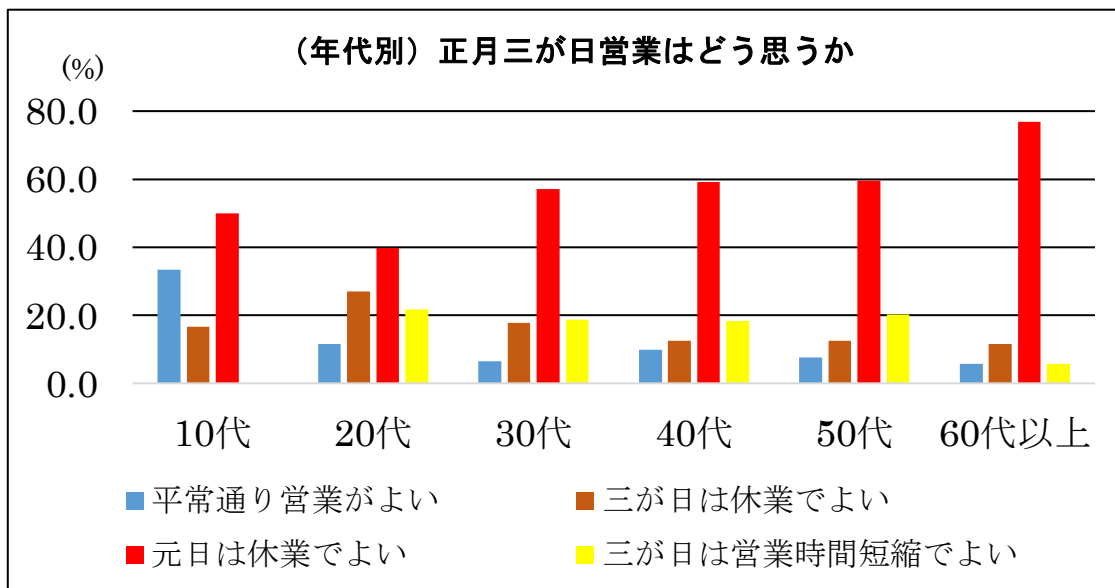
大型小売店の正月三が日営業について

「平常通り営業」がよいは僅かに 1 割弱、6 割近くが「元日は休業」でよい、

「三が日は休業」、「三が日は営業時間短縮」でよいもそれぞれ 2 割弱

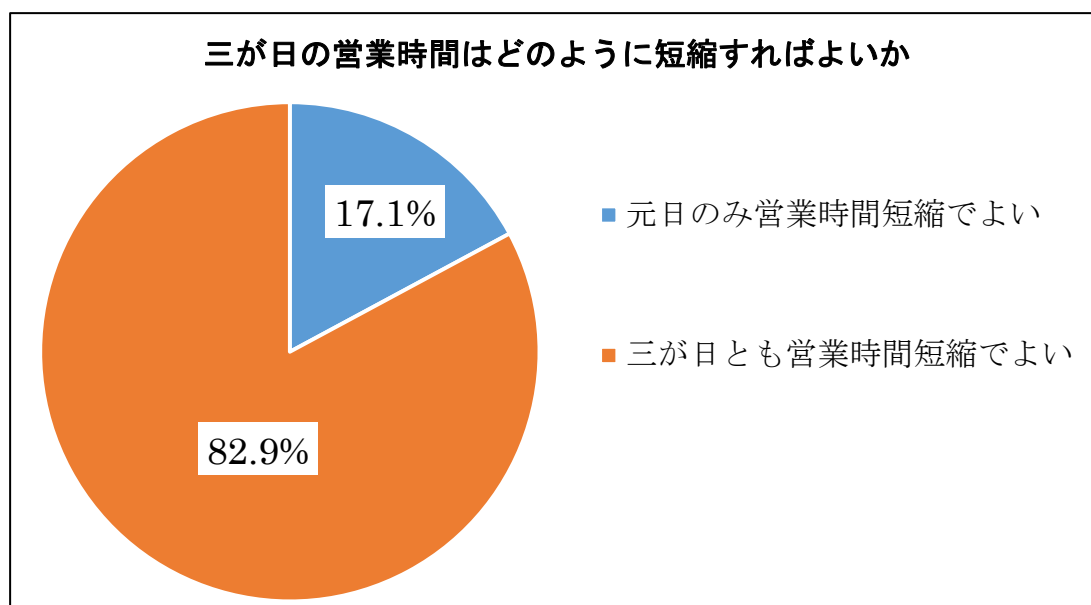


- ・ 「元日は休業」でもよいが 57.6% (288 人) と 6 割近くに上り、「正月三が日は休業」でもよいは 15.8% (79 人) で、合わせると 73.4% と 7 割以上の人々が「元日あるいは三が日は休業」でよいと考えている。
- ・ 「平常どおりの営業」を望む回答は、8.8% に止まる。
- ・ 三が日の営業を望むものの、「営業時間は短縮」してよいが 17.8% (89 人)。



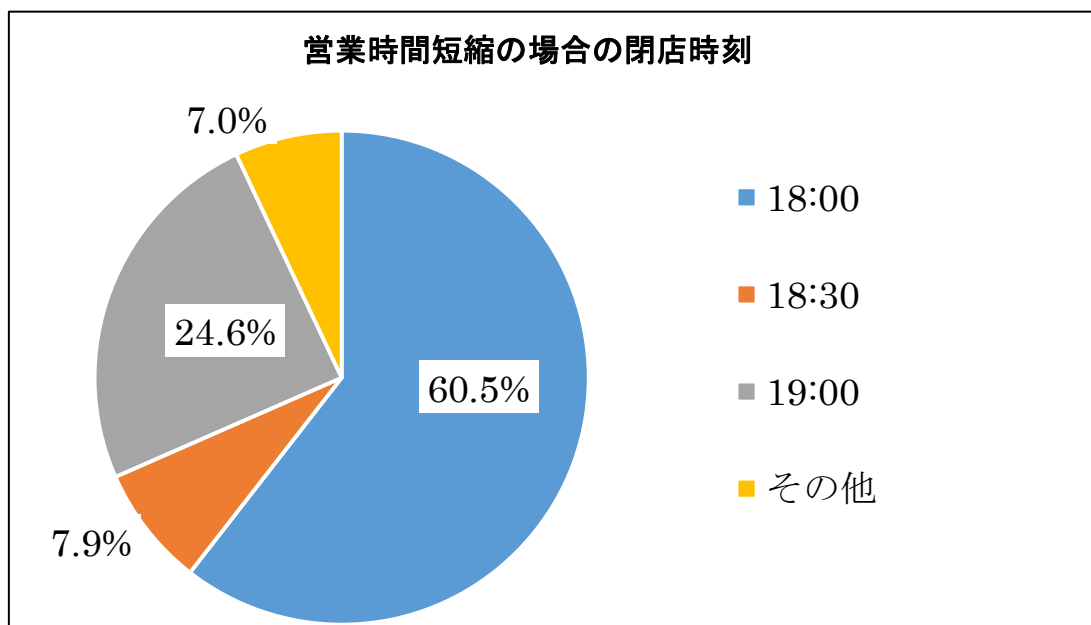
- ・ 年代別にみると、10～20 代は他の年代と比べ、「平常通り営業」や「三が日は営業時間短縮」でよいといった三が日の営業を望む割合がやや多い。
- ・ 年代が上がるにつれ「元日は休業」でよいとする考え方が多くなる傾向がみられる。

三が日営業を望む回答者の8割超が「三が日は営業時間短縮」でよい



- ・ 三が日の営業を望むものの、「営業時間は短縮」してよいと答えた人は、「三が日とも営業時間短縮」でよいとする回答が圧倒的に多く、82.9%を占める。

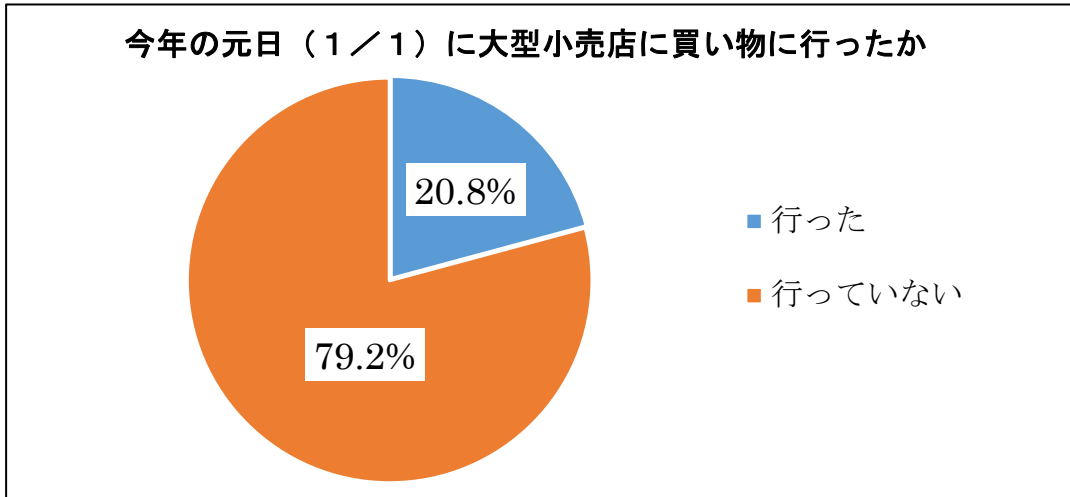
営業時間短縮の場合の「閉店時刻は 18:00」が最多で6割超



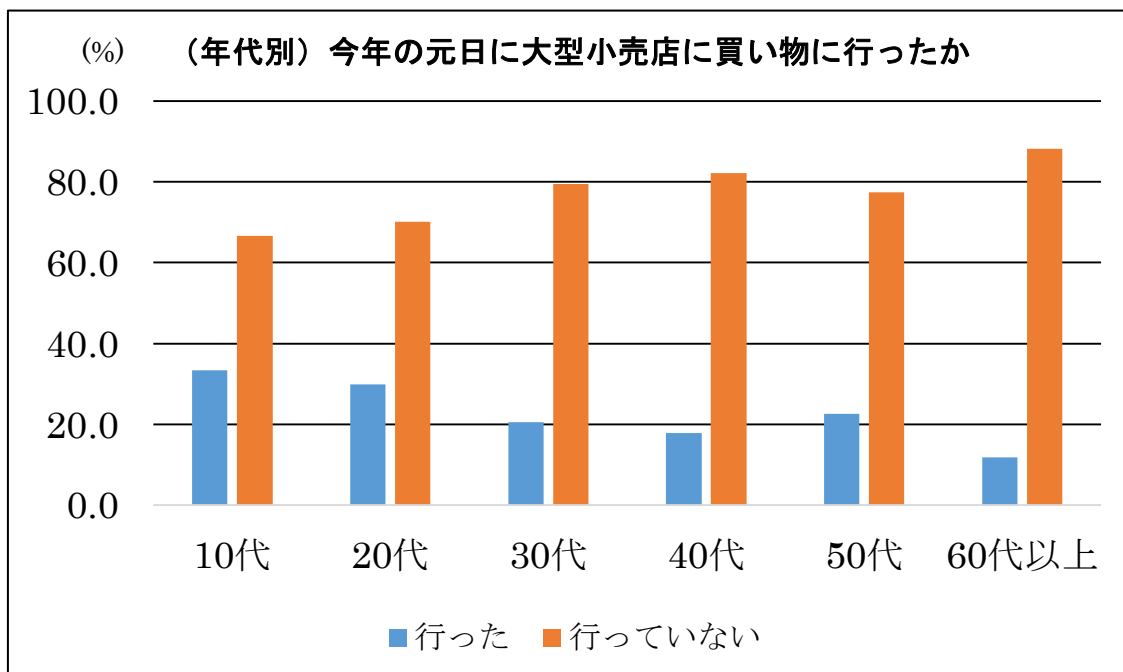
- ・ 営業時間を短縮する場合に希望する閉店時刻は、「18:00」が最も多く 60.5% (69人)。次に「19:00」が多く 24.6% (28人)。
- ・ 「その他」の7.0%では、「17:00」との回答もみられる。

元日の大型小売店での買い物について

約 8 割が元日には大型小売店へ「買い物に行かず」



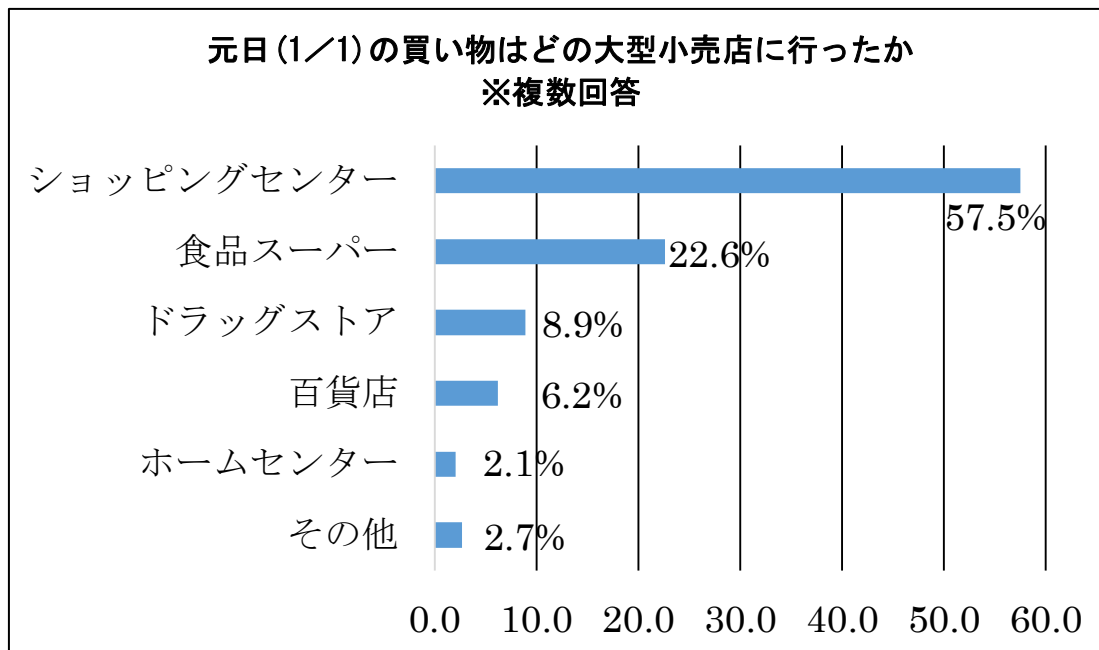
- ・ 1月1日に大型小売店へ買い物に「行っていない人」が79.2% (392人)と買い物に行った人を大きく上回る。
- ・ 「行っていない人」を男女別でみると、「男性」のうち「行っていない人」の割合は82.3%、同じく「女性」は76.6%で、男女間で「行かなかった」という傾向に大きな差はみられない。



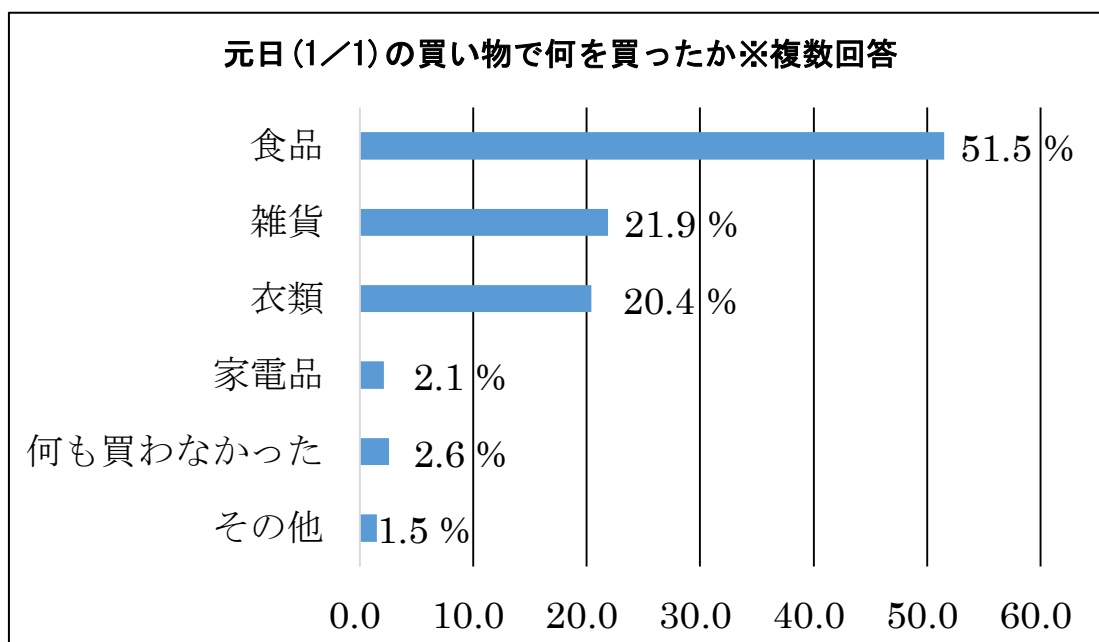
- ・ 年代別でみると、「行っていない人」が「40代」で82.1%、「60代」で87.0%と8割を超え、他の年代よりも割合が高い傾向がみられる。
- ・ 調査対象は事業所に勤める従業員であり、その業種からほとんどが元日は休暇中とみられ、あえて買い物に出掛けず、休む人が多数を占めたものと考えられる。

元日に行った大型小売店は「ショッピングセンター」

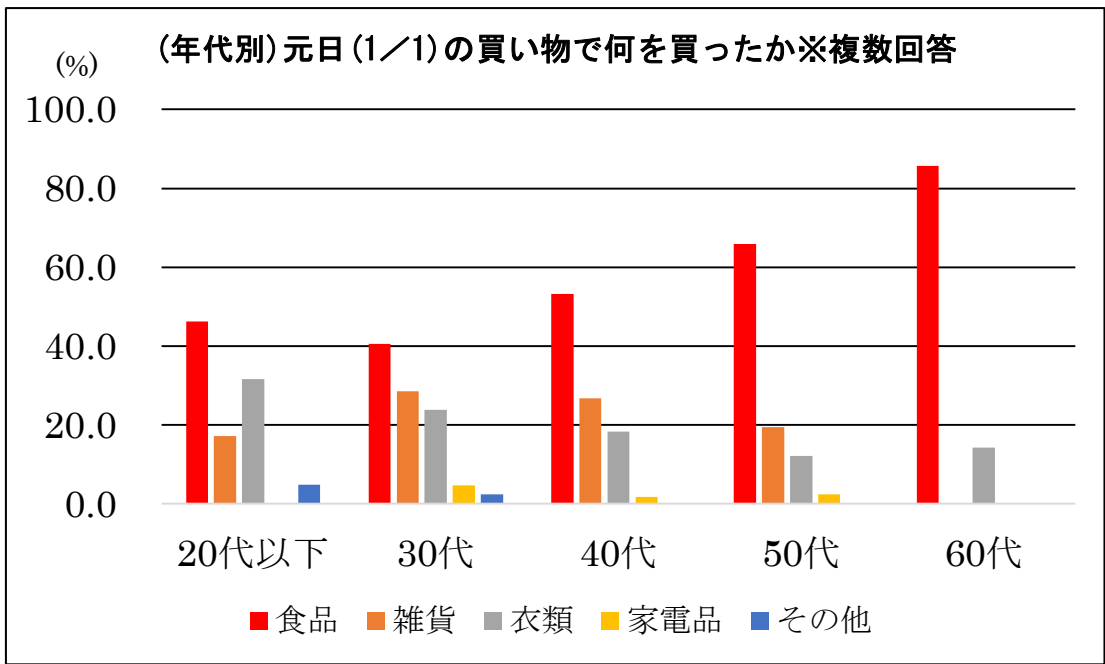
購入物は「食品」が最多



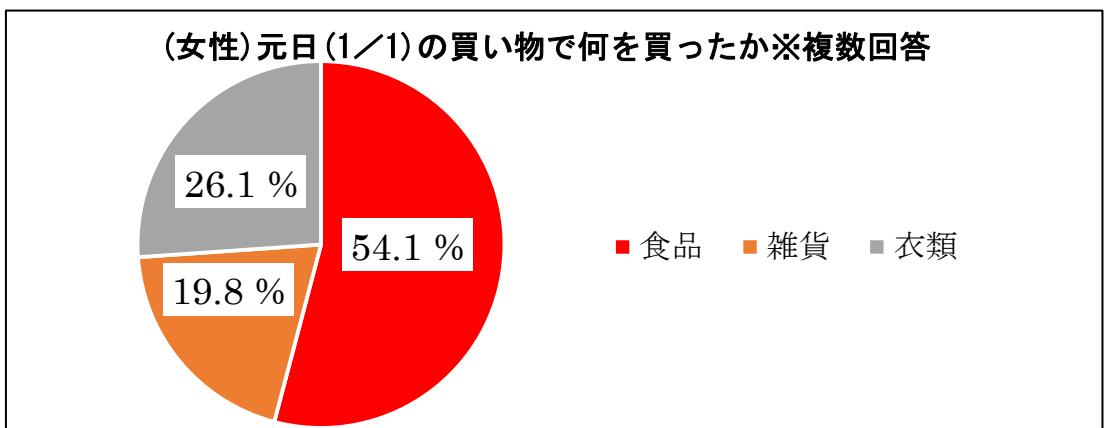
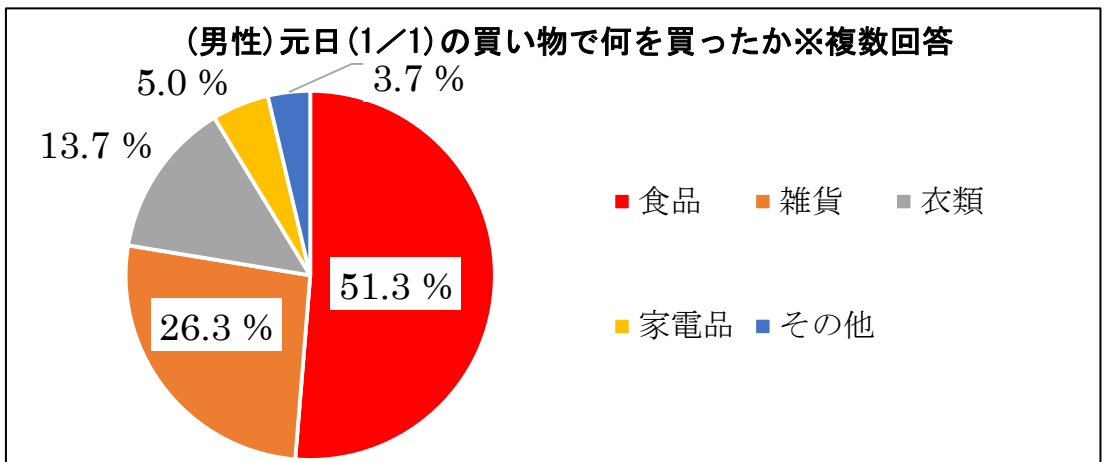
- 元日に買い物に行った人のうち、行った店舗として最も多かったのは「ショッピングセンター」で57.5%。次に「食品スーパー」で22.6%。



- 元日に買い物に行った人が購入した物で最も多かったのは「食品」で51.5%。次に、「雑貨」が多く21.9%、「衣類」の20.4%が続く。
- その他では、「福袋」や「化粧品」という回答も見られる。



- ・ 年代別でも、購入物は「食品」が最多となっている。
- ・ 「衣類」でみると、各年代では「20代以下」が多く、年代が下がるにつれ数が減少。

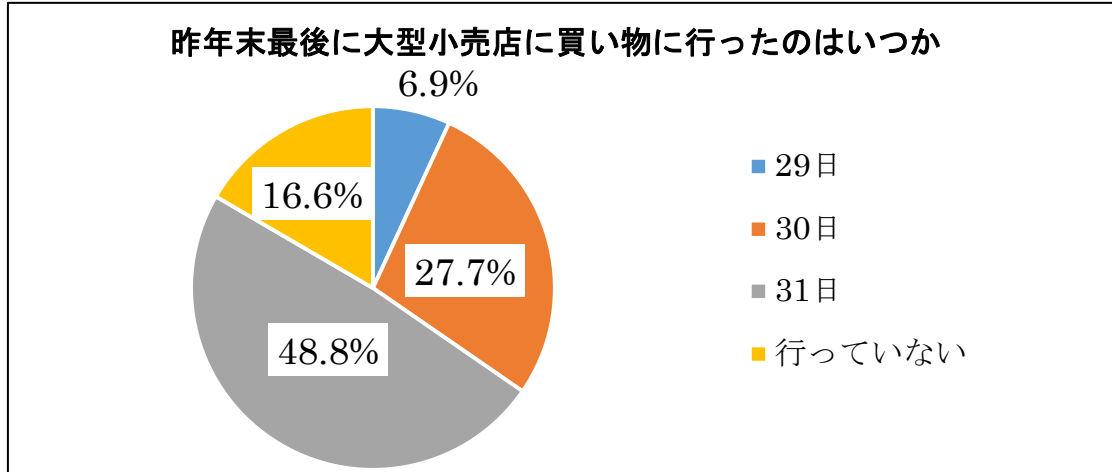


- ・ 男女別で見ると、男女ともに購入物は「食品」が多く、半数を超える。次いで男性は「雑貨」、女性は「衣類」が多く、男性と女性で異なる。
- ・ 「家電品」は男性のみで、女性の回答はない。

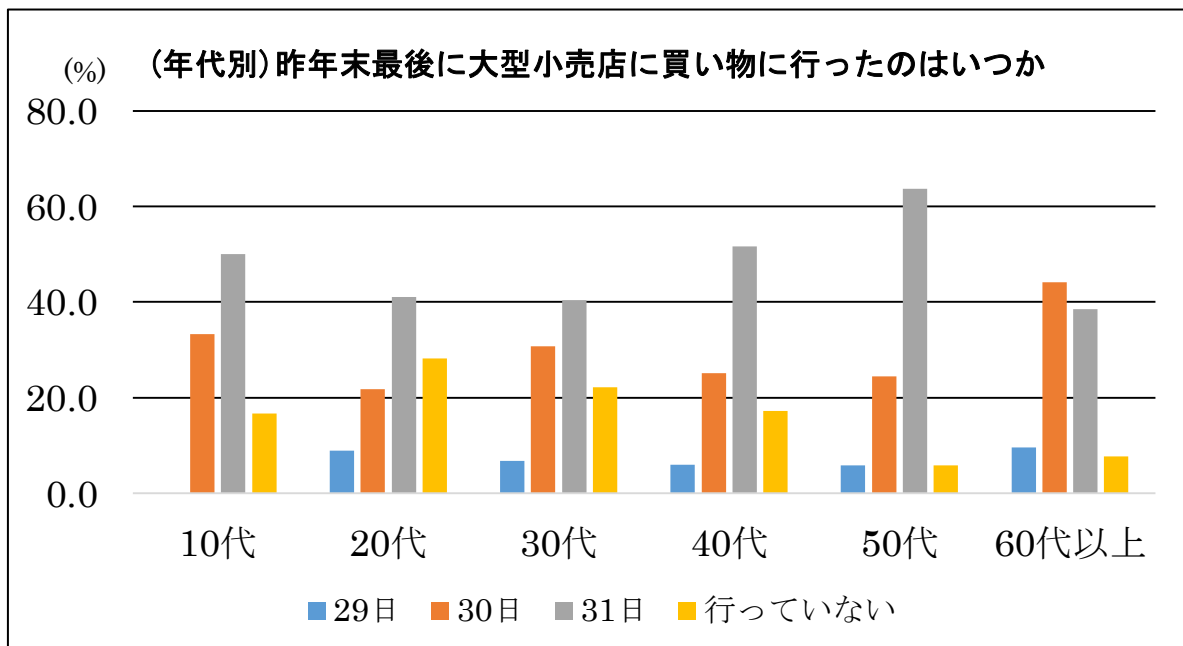
年末の大型小売店での買い物について

半数近くが「31日に最後の買い物」、29日以降には大型小売店で

買い物をしなかったとの回答も2割近くを占める



- ・ 48.8% (261人) が「31日」と回答し、半数近くが大晦日に大型小売店で買い物をしている。
- ・ 「行っていない」との回答も16.6% (82人) となり、2割近くの人が29日以降に大型小売店で買い物をしていない。
- ・ 「31日」に買い物に行ったとの回答は、女性全体 (271人) でみると51.3%と半数を超える。男性は半数を切り45.8%。



- ・ 年代別にみると、「31日」まで買い物に行った割合は年代が上がるにつれ増加し、50代では6割を超える。しかし、60代以上になると、「30日」の割合が「31日」を上回る。